

2012/04/01(日)10:07

|            |   |         |                           |
|------------|---|---------|---------------------------|
| 科目名        | 情報処理A   | 学年      | 1                         |
| サブタイトル     |   | 単位      | 1                         |
| 教員名        | 太田 信宏   | メールアドレス | ohtan@shonan.bunkyo.ac.jp |
| 授業概要       | PCとインターネットを有効活用できることが、現代社会に求められる必須の能力となっている。この授業のテーマはインターネットを中心とした情報活用法及び効果的な情報表現である。授業ではインターネットを利用した情報検索やコミュニケーション、ネット社会で必要とされる情報倫理やネチケットなどのネットワークリテラシーを学ぶ。また情報を効果的に表現する方法として、文書表現法のテクニック、プレゼンテーションの基本技法、ウェブページによる情報発信についても学習する。PCを使った演習形式の授業である。  |         |                           |
| 授業計画       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業オリエンテーション、PCの環境設定、メール送受信</li> <li>・キーボードタイピング、インターネットの利用とウェブ検索</li> <li>・著作権と情報倫理(eラーニング教材による学習)</li> <li>・ワープロソフトによる文書表現1(課題1ービジネス文書)</li> <li>・ワープロソフトによる文書表現2(課題2ー図形機能)</li> <li>・ワープロソフトによる文書表現3(課題3ー長文作成機能)</li> <li>・ワープロソフトによる文書表現4(課題4ー複合課題)</li> <li>・プレゼンテーションソフトの基本操作</li> <li>・プレゼンテーション技法の基礎知識</li> <li>・効果的なスライドの作成(課題5ープレゼンテーションスライド)</li> <li>・ウェブページの作成と表示</li> <li>・効果的なウェブページ作成(課題6ーマイウェブの作成)</li> <li>・学期末作品の作成1</li> <li>・学期末作品の作成2</li> <li>・作品発表(課題7ー総合課題)／授業のまとめと授業アンケート</li> </ul> |         |                           |
| 評価方法       | 評価の割合は、定期試験40%、授業中の課題25%、学期末の成果作品30%、出席等の平常点5%として100点換算する。定期試験はPCによる実技試験を行う。  |         |                           |
| 評価基準       | 定期試験(実技試験)ではワープロによる文書作成を行い、情報表現の完成度を評価する。授業中の課題および学期末の作品については、提出点50%、内容点50%とし、成果物の内容・的確性・分量・見栄え・センスを総合評価する。100点換算した点数で90点以上をAA、80点以上をA、70点以上をB、60点以上をC、59点以下をDとする。  |         |                           |
| テキスト       | 資料を配付する。  |         |                           |
| 参考書        | 新訂3版情報リテラシー基礎,海老沢信一・太田信宏他,同友館   |         |                           |
| 受講者へのメッセージ | この授業では情報活用の基礎として、ワープロ、インターネット、電子メール、さらには情報発信に必要なプレゼンテーションについて学びます。パソコンを道具として自在に活用するための、知識・技能をしっかりと身につけて下さい。   |         |                           |